

順天堂大学アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

順天堂大学は、1838 年、学祖佐藤泰然が江戸薬研堀に開設した西洋医学塾に端を発し、今に繋がる日本最古の医育機関です。学是「仁」（人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」）と理念「不断前進」（現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力し続ける姿勢）に則り、「出身校、国籍、性による差別無く優秀な人材を求め、活躍の機会を与える」という学風（三無主義）を掲げ、自己研鑽・競争原理及び相互信頼の下に高い倫理観に基づく教育、研究、臨床を実践しています。

本学は、医学、スポーツ健康科学、看護学、国際教養学、理学療法学、診療放射線学、臨床検査学、臨床工学、健康データサイエンス学及び薬学の理論と実際を教授・研究することにより、国際的な広い視野を持ち、高度な専門知識とスキルを基盤に科学及び技術の水準を高め文化の進展に寄与し、地域社会や国際社会の発展と人類福祉の向上に貢献できる人材の養成を目指しています。

学士課程では、上記のような人材養成目的を実現するため、次のような意欲と資質を有した学生を国内外より求めています。そのために多様な入試制度を用意して公正かつ適切に評価します。

1. 本学の学是「仁」及び理念「不断前進」を理解し、自らの持つ感性と倫理観を絶えず磨いていく意欲の高い人
2. 自ら主体的に学び、自ら積極的に取り組み、解決の道を切り拓くことにより人間的成長を強く志向する熱意がある人
3. 専門知識を高め、論理的思考力と確かな技能を身に付けるための基盤として、高等学校等までにおける教育課程で修得した基礎的な学力を有している人
4. ボランティア活動、課外活動などこれまでの特徴的な活動を通じて思いやり、奉仕の心、協調性を有している人
5. 幅広い人間性と柔軟性を備え、外国語を含むコミュニケーション能力を身に付けていく強い意志と意欲を持つ人

<https://www.juntendo.ac.jp/admission/admissionpolicy>



保健医療学部アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

保健医療学部では、学是である「仁」の精神に基づき、順天堂の長い歴史と伝統の中で培われた安心・安全で質の高い保健医療を提供し、高い倫理観と豊かな人間性を兼ね備えた医療専門職者（理学療法士・診療放射線技師）を育成するため、以下のような資質を備えた学生を求めます。

■ 求める学生像

<保健医療学部共通>

1. 「仁」の精神に共感でき、人に対する関心や思いやりがある人
2. 入学後に学ぶ学問領域に興味を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢・態度を有している人
3. 豊かな人間性、柔軟性と協調性を備え、他者との連携・協調を保てる人
4. 国内外の保健医療福祉の分野に広く貢献したいという志のある人
5. 高等学校等において能動的に幅広く学び、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている人
6. 基本的生活態度が身につけており、心身の健康に気を配れる人

各学科では、教育課程の内容に基づいて、次の能力を身に付けられる学生を求めます。

<理学療法学科>

1. 「気配り、目配り、思いやり」を持って他者との関わりを大切にし、相手の立場に立って物事を考えることができる人
2. ヒトの運動や動作のメカニズムに関心がある人
3. 理学療法士になる意思が強く、目標達成のために様々な方法を見つけ、粘り強く努力を続けることができる人
4. 社会の動きに関心を持ち、コミュニケーション能力がある人

<診療放射線学科>

1. 人を思いやる心、労わる心を持ち、相手の立場に立って物事を考えることができる人
2. 生命科学や放射線科学に興味を持ち、様々な分野で将来に亘り社会に貢献しようとする意欲のある人
3. 学ぶ意欲や挑戦しようとする意欲があり、粘り強く主体的に学習する意志のある人
4. 社会の動きに関心を持ち、コミュニケーション能力がある人

■ 大学入学時までに身に付けておくべき教科・科目等

1. 生命現象・健康・医療を理解する上で必要となる数学・理科の基礎的な知識
2. グローバル社会への関心とコミュニケーションツールとしての英語等の語学力
3. 課外活動、ボランティア活動等を通じた主体性、自律性、積極性

■ 入学者選抜の基本方針

保健医療学部は、学是「仁」に共感でき、豊かな感性を持った理学療法士・診療放射線技師を養成するため、多様な選抜方式を採用します。入学者選抜にあたっては、選抜方式ごとに学力試験や、小論文試験・面接試験などを実施して、入学者の受け入れを多面的・総合的に評価します。また、選抜方式によっては高等学校での学修状況や諸活動での取り組みなども評価対象に加えます。